

人生100年時代に知っておきたい、介護の現状

わが国は世界一の長寿大国。健康に生活できる「健康寿命」と、「平均寿命」の差は、男性で8.84年、女性で12.35年あると言われています。^{※1}
この年数は、つまり健康でない期間のこと。「健康寿命」を過ぎると介護のリスクがぐっと高まります。



1

85歳以上の方の約6割が要支援・要介護状態に認定。介護の要因第1位は、認知症です。

◆ 要支援・要介護認定者の割合^{※2}

年齢	割合 (%)
40~64歳	0.4%
65~69歳	2.9%
70~74歳	5.8%
75~79歳	12.7%
80~84歳	26.5%
85歳以上	59.2%

要介護等に認定される方が加齢とともに急増!!

約2人に1人

◆ 介護が必要となった5大要因^{※3}

- 1位 認知症
- 2位 脳血管疾患(脳卒中)
- 3位 高齢による衰弱
- 4位 骨折・転倒
- 5位 関節疾患

2

認知症患者(軽度認知障害含む)は2025年には65歳以上の高齢者人口約3,677万人の約3人に1人、約1,362万人に達すると推計されています。

◆ 認知症患者(軽度認知障害を含む)の将来推計

年	認知症患者(軽度認知障害含む) (万人)	高齢者人口(65歳以上) (万人)
2012	約862万人	約400万人
2025	約1,362万人	約632万人

2025年には2012年の認知症患者(軽度認知障害含む)の約1.5倍に...

高齢者の約3人に1人

2025年 約1,362万人

◆ 認知症と軽度認知障害(軽度認知障害)の推計

項目	推計人数 (万人)
認知症	約462万人
軽度認知障害(軽度)	約730万人
軽度認知障害(中)	約632万人

3

介護にかかる費用の平均値。5年1か月で約507万円です。

◆ 介護期間^{※7}

平均 5年1か月 (61.1か月)

◆ 介護費用(月額)^{※8}

平均 8.3万円

◆ 支払った費用はない0.0%

もし1か月の平均費用8.3万円が継続した場合

1年間継続 約99.6万円 (平均8.3万円×12か月)

5年1か月間継続 約507万円 (平均8.3万円×61.1か月)

4

家族の介護や看護を理由に離職・退職した人は約9万9100人。実際に介護を受けている方の約5割以上が同居の家族により介護を受けているようです。

◆ 主な介護者と要介護者の関係^{※9}

同居 54.4%

◆ 家族の介護や看護を理由に離職・退職した人^{※10}

年	男性 (人)	女性 (人)	合計 (人)
平成24年10月~25年9月	25,200	65,700	90,900
平成25年10月~26年9月	26,900	72,100	99,000
平成26年10月~27年9月	23,700	76,900	100,600
平成27年10月~28年9月	17,400	62,800	81,200
平成28年10月~29年9月	24,000	75,100	99,100

あなたは、誰に介護をしてもらいたいですか。
大切な家族のために、介護の経済的な負担だけでも準備しませんか。

※1厚生労働省「第1回高齢社会白書」(第二次)健康寿命延長政策、平成20年3月。 ※2厚生労働省「介護給付費実態調査」(令和3年4月調査)。 ※3厚生労働省「2019年4月10日現在」(厚労省)JA共済発行。 ※4厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」(厚労省)JA共済発行。 ※52012年の認知症患者100万人、75歳以上の高齢者人口は約3,677万人と推定されている。 ※62012年の認知症患者100万人、75歳以上の高齢者人口は約3,677万人と推定されている。 ※7介護期間の平均値は、介護期間の平均値を算出した。 ※8介護費用の平均値は、介護費用の平均値を算出した。 ※9介護期間の平均値は、介護期間の平均値を算出した。 ※10介護期間の平均値は、介護期間の平均値を算出した。